

首都圏では東京区部に自動車交通が集中しています。



首都圏では、東京都心部に自動車交通が集中しています。都心へ集中する放射道路に対し、環状道路の整備が立ち遅れていることが要因と考えられます。



23区内に用がある自動車
走行量 1,900万台km/日 (大型車370万台km/日)

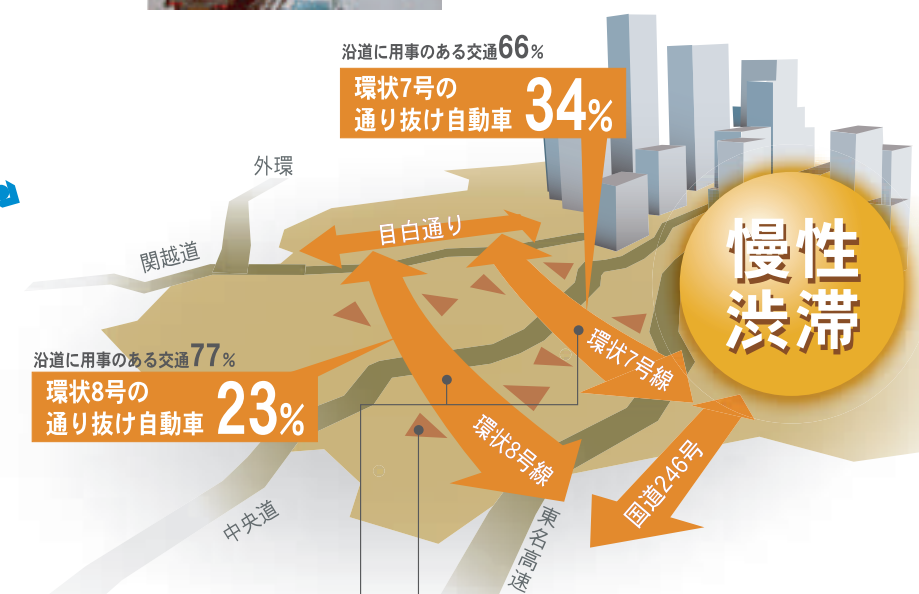
23区内の通り抜ける自動車 14%
大型車だけでは**33%**
走行量 720万台km/日 (大型車290万台km/日)

23区内で動く自動車
走行量 2,530万台km/日 (大型車226万台km/日)

通り抜けするだけの自動車が多いことが、問題です。

東京西部地域では南北方向の交通が環状7号線と環状8号線に集中しています。

国道246号から目白通りまでの南北方向の区間で、環状7号線では34%、環状8号線では23%が沿道に用事のない通り抜け自動車となっています。



大気汚染が深刻

環状7号線や環状8号線沿線は、大気汚染が深刻です。



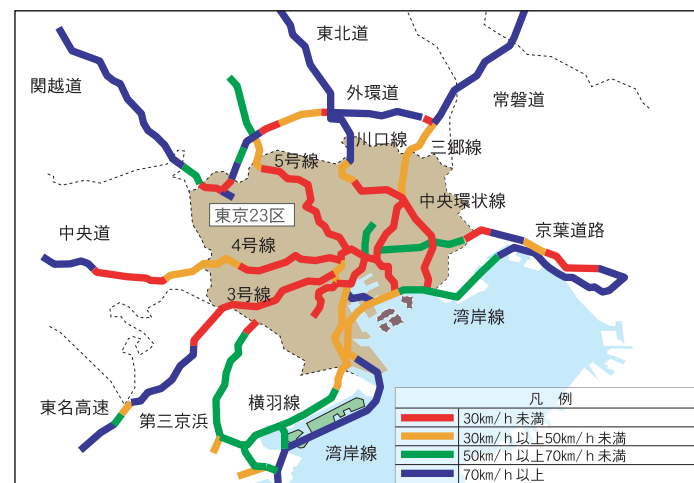
生活道路に侵入する通り抜け自動車

環状7号線や環状8号線の渋滞を避けて周辺生活道路に通り抜け自動車が入り込んでいます。



慢性的な渋滞が発生

首都圏の高速道路の走行速度



首都圏の高速道路の交通量

